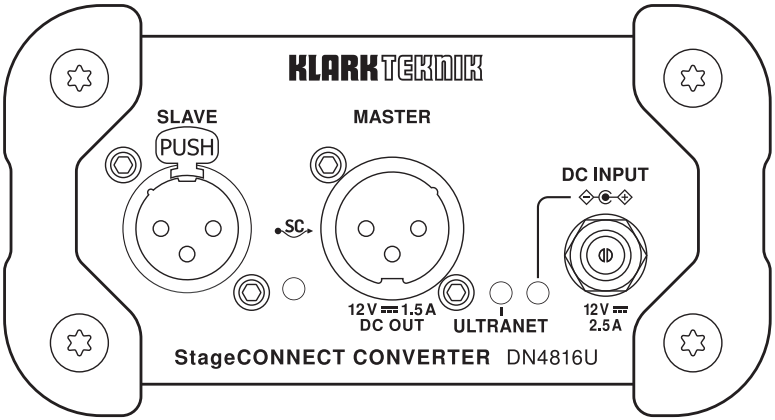
クイックスタートガイド

JP



DN4816U

Bus-Powered StageConnect Interface Bridge with
Multi-Channel USB I/O and Behringer Ultranet I/O

KLARK TEKNIK

JP 安全にお使いいただくために

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK!
DO NOT OPEN!
ATTENTION
RISQUE D'ÉLECTROCUTION !
NE PAS OUVRIR !

注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。 電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

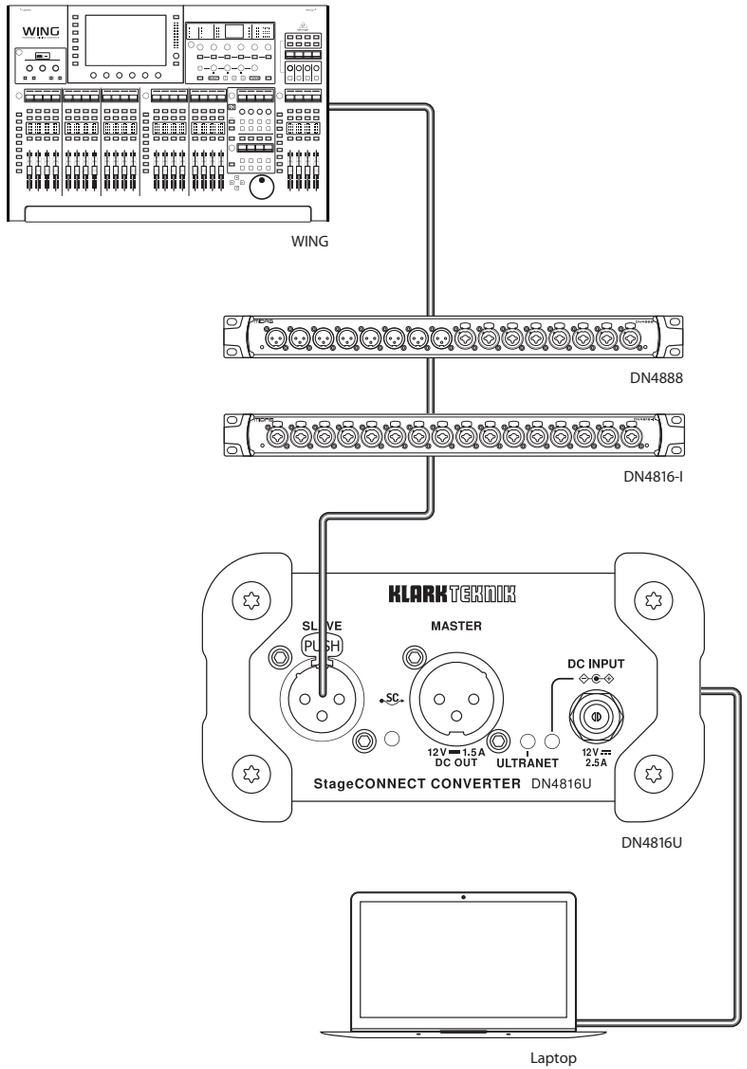
ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

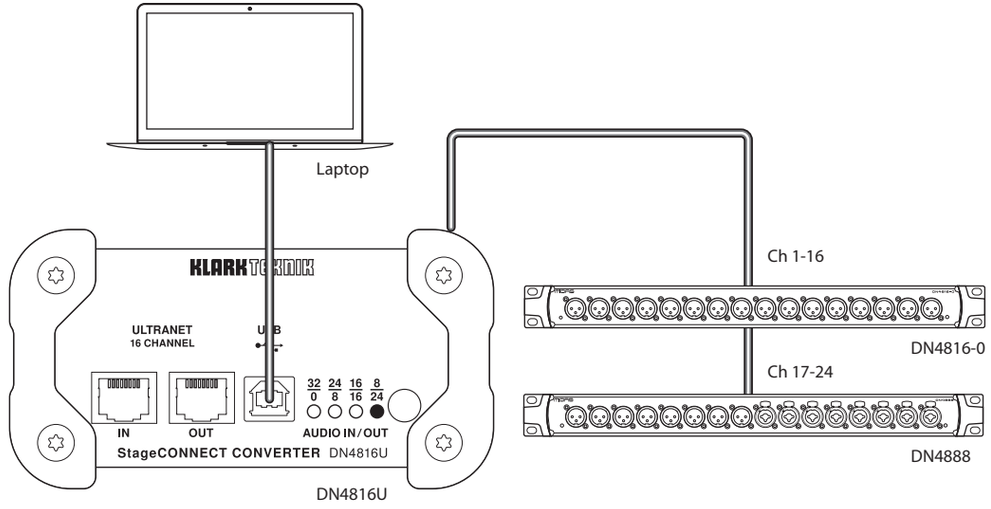
限定保証

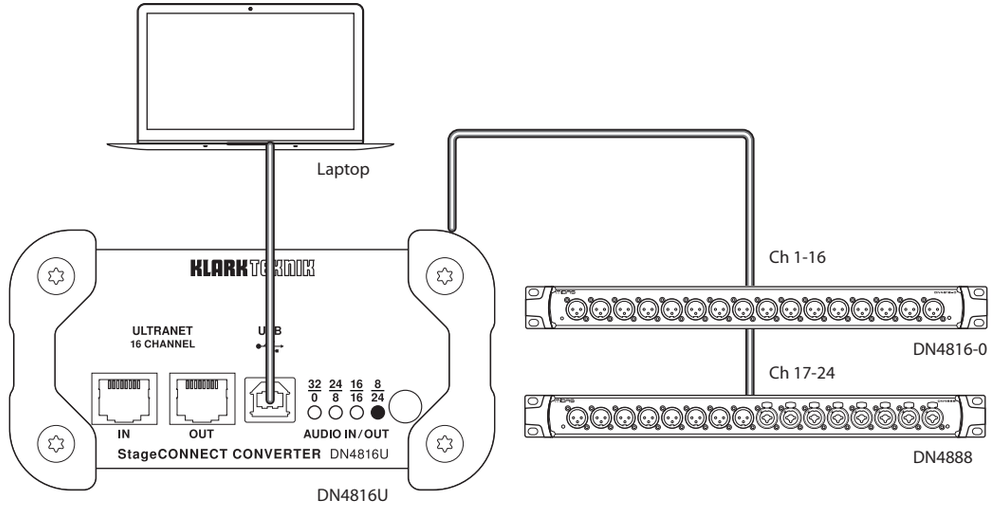
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

JP

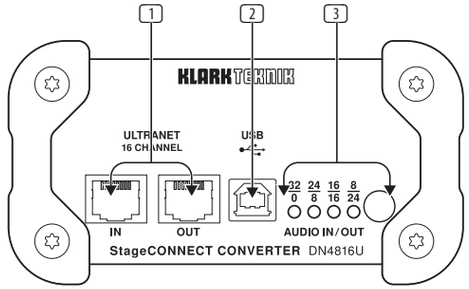
DN4816U フックアップ

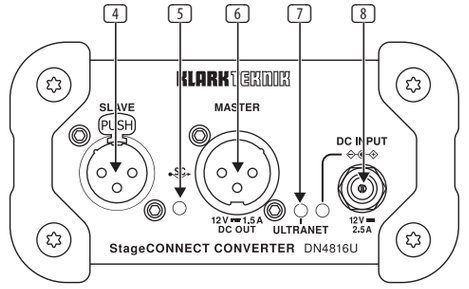






DN4816U コントロール





1. **ULTRANET IN/OUT –** オーディオ 16 チャンネルを別の Ultranet 機器と Cat5e ケーブルを通じて接続し、入 / 出力します。
2. **USB –** 合計 32 チャンネルを接続したコンピューターとの間で送受信します。
3. **AUDIO IN/OUT –** ボタンを押すと、入 / 出力の設定 4 種類を循環します。
4. **SLAVE –** マスターユニットまたは別のスレーブ機器のチェーンに接続し、潜在的に 12 V のバスパワーを受信します。
5. **CONNECTION LED –** StageConnect チェーンへの接続が成功すると点灯します。
6. **MASTER –** チェーン内の別のユニットに、マスターユニットとして、または別のスレーブユニットにリンクしたスレーブとして接続します。電源アダプターが接続されている場合は、別のユニットにも送電します。
7. **ULTRANET LED –** 別の Ultranet 機器との接続が成功すると点灯します。
8. **DC INPUT –** StageConnect バスから給電不可なユニットには、付属の 12 V DC 電源サプライを接続します。外部アダプターまたは StageConnect バス経由で電源供給を受けると、隣接する LED が点灯します。

StageCONNECT マニフェスト

1. StageConnect チェーンは必ず、1 台のマスター機器と、最大 11 台のスレーブ機器で構成されます。
2. マスターは常にチェーン内の最初の機器です。
3. StageConnect チェーン は XLR オスコネクターで開始し、XLR メスコネクター* で終了します。
4. オーディオはマスターおよびスレーブ間でのみ転送され、スレーブ同士の間では転送されません。
5. オーディオ出力は必ずマスターからとなります。
6. オーディオ入力は常にまっすぐマスターに送信されます。
7. マスターで StageConnect バスを設定します。
8. マスターの次の、第一のスレーブユニットが最優先されます。
9. 稼動中はチェーンに対する変更をおこなわないでください。**

*アナログ入力に接続したマイクロフォンと同様です。

**これにより、バス再設定の間、オーディオが 2 分間遮断されます。

JP

技術仕様

処理	
StageConnect バス容量	32 チャンネル、24 ビット PCM オーディオ
I/O レイテンシ	0.1 ms
コネクタ	
ウルトラネット	2 x RJ45
最大シールド CAT5e ケーブル 長さ	75 m
StageConnect	1 XLR オス、1 XLR メス
シールドバル。110 オーム DMX ケーブル	max. 40 m
USB	タイプ B
USB オーディオ入力 / 出力構成	32 / 0、24 / 8、16 / 16、8 / 24 チャネル
OS と互換性のある USB オーディオクラス 2	Win10（ASIO / WDM）、OSX（CoreAudio）、Linux
力	
電源	12 V DC / 2.5 A、30 W アダプター付属、 スレーブ XLR (メス) を介したリモート電源入力、 マスター XLR (オス) を介したリモート電源出力 12 V DC / 1.5 A、18 W
消費電力	2 W
物理的	
標準動作温度範囲	5° - 45°C (41° - 113°F)
寸法	118 x 63 x 112 mm (4.7 x 2.5 x 4.4")
重量	0.71 kg (1.57 lbs)

JP

DN4816U はじめに

信号のルーティング

DN4816U は、接続した機器に応じて自動的にルーティングを調節するため、パンドラの箱にもたとえられます。いずれのインターフェイスも Ultranet 出力以外のルーティングに影響しますのでご留意ください。次のリストは、選択した入／出力設定および、検出した接続に基づくルーティングです。

使用接続				説明	入／出力設定	
SC SLAVE"	SC MASTER"	"Ultranet Input"	USB	SC = StageConnect	StageConnect	USB Interface
			✓	USB Play → Ultranet Out	-	16 Rec/16 Play
		✓	✓	USB Play → Ultranet Out Ultranet In → USB Rec	16/16	16 Rec/16 Play
		✓		Ultranet In → Ultranet Out	16/16	
	✓	✓		Ultranet In → SC and Ultranet Out	16/16	
	✓	✓	✓	Ultranet In → SC, Ultranet Out and USB Rec	16/16	32 Rec**
	✓		✓	USB Play → SC SC Master Port → USB Rec and Ultranet Out	設定による*	設定による*
	✓			SC Master Port → Ultranet Out	16/0	
✓	✓			SC Slave Port → Ultranet Out	16/0	
✓	✓		✓	USB Play → SC Slave Port SC Slave Port → USB Rec and Ultranet Out	設定による*	設定による*
✓	✓	✓	✓	USB Play → SC Slave Port SC Slave Port → USB Rec and Ultranet Out Ultranet In → USB Rec	16/16	32 Rec**
✓	✓	✓		SC Slave Port → Ultranet Out Ultranet In → SC Slave Port	16/16	
✓		✓		Ultranet In → SC Slave Port SC Slave Port → Ultranet Out	16/16	
✓		✓	✓	Ultranet → SC Slave Port and USB Rec USB Play → SC Slave Port SC Slave port → USB Rec	16/16	32 Rec**
✓			✓	USB Play → SC Slave Port SC Slave Port → USB Rec and Ultranet Out	設定による*	設定による*
✓				SC Slave Port → Ultranet Out	16/0	

* SC/USB バスは、AUDIO IN/OUT (オーディオ入／出力) ボタンにより定義されます。

** USB 1-16 = Ultranet 入力、USB 17-32 = SC

事例

DN4816U は 3 通りの使用方法を想定して設計されています:

1. Ultranet から StageCONNECT (逆も同様)

2. USB から StageCONNECT (逆も同様)

3. USB から Ultranet (逆も同様)

前項で解説したように、検出された接続にしたがって自動的にルーティングされます。DN4816U は元来 StageConnect と共に使用するため設計されているので、StageConnect 信号はルーティングにおいて優先されます。以下、3 通りの使用方法について詳しく解説いたしますので、是非ご参照ください。

1. Ultranet と StageConnect の接続

事例 1.1: Ultranet から StageConnect



接続:

- X18/MR18 ミキサーの Ultranet 出力 から DN4816U の Ultranet 入力へ
- DN4816U の StageConnect スレーブから StageConnect マスター (WING) へ

この使用方法では、X18/MR18 を WING コンソールへの追加入力ソースとして使用可能です。DN4816Uはマルチチャンネル ASRC (非同期サンプルレートコンバーター) 対応なので、X18/MR18 ミキサーおよび WING のクロックはそれぞれ独立状態を保てます。

事例 1.2: StageConnect から Ultranet



接続:

- WING/HUB4 の StageConnect マスターから DN4816U の StageConnect スレーブへ
- DN4816U の Ultranet 出力 から P16 システムの Ultranet 入力へ

この使用方法は、Behringer P16 パーソナルモニタリングシステムを WING コンソールまたは Midas HUB4/DP48 モニタリングシステムと使用します。StageConnect スレーブ入力で受信した信号は、Ultranet 出力に変換されます。

StageConnect は合計 32 チャンネルまで対応するので、事例 1.1 および 1.2 の両方を同時使用できます。Ultranet 入力接続が検出されると、いかなる場合でもバス設定はデフォルトの 16/16 に戻ります。

2. StageConnect に USB を接続

DN4816U に StageConnect および USB のみが接続されている場合、AUDIO IN/OUT ボタンにより、StageConnect バス設定を変更します。

事例 2.1: USB から StageConnect



接続:

- USB (DN4816U) から USB 経由でラップトップへ
- StageConnect スレーブ (DN4816 U) から StageConnect マスター (WING/DN4816-0) へ

この使用方法は、DN4816U を、StageConnect への最大 24 オーディオ信号の USB プレイバックに使用します。

事例 2.2: StageConnect から USB

接続:

- USB (DN4816U) から USB を通じてラップトップへ
- StageConnect スレーブ (DN4816U) から StageConnect マスターへ (WING/HUB4/DN4816-I)

この使用方法では、DN4816U は StageConnect からの最大 32 オーディオ信号の USB レコーディングに使用します。これは何台かの別の機器と使用でき、WING コンソールに接続したバックアップレコーディングや、HUB4 からのモニタリング信号のレコーディング、もしくは DN4816-I からのアナログ入力信号のレコーディング等が可能です。

3. Ultranet に接続した USB

Ultranet 接続を検出すると、いかなる場合でも、バス設定はデフォルトの 16/16 に戻ります。そのため下の例の両方をパラレルで使用することも可能です。



事例 3.1: USB から Ultranet

接続:

- USB (DN4816U) から USB を通じてラップトップへ
- Ultranet 出力 (DN4816U) から Ultranet 入力 (P16/Turbosound iQ スピーカー) へ

この使用方法では、DN4816U を Ultranet への 16 オーディオ信号のプレイバックに使用します。これは Turbosound iQ スピーカーシステムへのマルチチャンネルオーディオのプレイバックや、P16 モニタリングシステムへのマルチトラックレコーディングのプレイバックにも使用できます。

事例 3.2: Ultranet から USB

接続:

- USB (DN4816U) から USB 経由でラップトップへ
- Ultranet 出力 (P16/X-Air ミキサー) から Ultranet 入力 (DN4816U) へ

この使用方法では、DN4816U を、Ultranet ストリームからの最大 16 オーディオ信号の録音 に使用できます。これは P16 モニタリングシステムの、モニタリング信号のレコーディングや、X-Air ミキサーでのバックアップレコーディングにも使用できます。

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります